

理数科2年北陵祭ポスター発表会 VRポスターセッション実施

9月15日(金)、16日(土)に本校文化祭「北陵祭」では、理数科2年によるARⅡ課題研究のポスター発表会を行いました。今年度は、対面での会場の一角に、バーチャルリアリティ(VR)内でのポスターセッション体験会場も設けました。

VR会場は、自然科学部データサイエンス班の2年生部員が中心となり、ゼロから作り上げました。Unreal Engineで作成されており、各研究班の

ポスターデータがVR会場に掲示されました。さらに、地学班がUnityで作成した学校周辺の3Dマップや生物班の研究材料であるプラナリアの模型(blender作成)も、それぞれのポスター横に配置されていました。

VRに興味を持った小中学生やその保護者、また関係する職員及び保護者役員も広く会場に訪れ、その後、対面のポスター発表会にも参加する様子が見られました。



図1 北陵祭ポスターセッション会場でのVR体験の様子

青少年のための科学の祭典 熊本大会2023実験ワークショップ^o 出展



図2 ワークショップでテレビ局の取材を受ける様子

8月19日(土)、20(日)にグランメッセ熊本で開催された「科学の祭典」に自然科学部化学分野が出展しました。

6つの実験ワークショップ^oの内、本校が唯一の高校からの出展となり(大学5つ)、多くの小学生が化学実験を楽しみました。

高大社連携 第2回共創ワークショップ実施



図3 共創ワークショップにおいて、高校生が班の議論のまとめや感想を発表する様子

8月3日(木)に、第2回目となる共創ワークショップを実施しました。

SSHのⅢ期の柱として「KITAco-creation」を掲げており、今回は高大社の関係者が一緒になって、「高校・大学・企業間連携によりこれから育成を目指す人物像」をテーマにワークショップを実施しました。

ここでは、本校運営指導委員の先生方と教職員、さらに高校生とその保護者も参加しました。

ファシリテーターからの趣旨説明後、地元企業取締役、大学副学長、PTA会長、SSH研究部長から話題提供がありました。

分科会では、チェックイン後、自然科学部やSSH委員の代表である高校生が、「課題研究を通してどのような力を身に付けたいか、どのような活動を行いたいか」を話しました。その後、テーマに沿って、熱心な議論が行われていました。

全体共有では、班を代表して高校生4人から議論のまとめや感想を紹介してもらいました。和やかな雰囲気の中、これからの活動や将来についても語られていました。

SSH事業の方向性を探ったり、高校生が進路を考えたりする上でも意義のある会になりました。

ワークショップの流れ

- (1)はじめに
- (2)話題提供
 - ①社会からの話題
 - ②大学からの話題
 - ③高校からの話題
 - ④保護者からの話題
- (3)ラウンドテーブル・ディスカッション

4班で次のとおりハイブリッド型で実施

 - ①チェックイン
 - ②協議テーマに基づきディスカッション
- (4)全体共有

班を代表して、高校生が議論や感想を発表
- (5)チェックアウト

班で気づきや感想共有